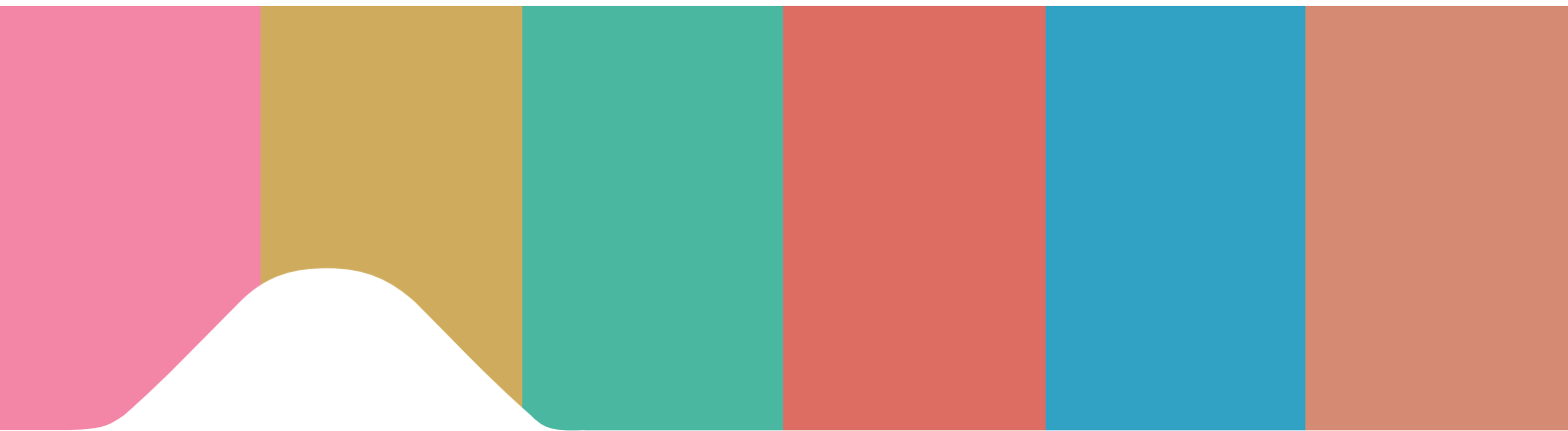


平成28年度事業報告書



認定 NPO 法人 宝塚 NPO センター

ご挨拶

中間支援団体ってなんだろうと思われる方も多いのではないかと思います。英語ではまさしくインターメディアリー intermediary といいますが、一般的には NPO を支援する NPO と捉えられています。宝塚 NPO センターも「市民活動の交差点」として中間支援団体を目指しています。

内閣府によると「多元的社会における共生と協働」という目標に向かって、地域社会と NPO の変化やニーズを把握し、人材、資金、情報などの資源提供者と NPO の仲立ちをしたり、また、広義の意味では各種サービスの需要と供給をコーディネートする組織」ということになっていますが、調査、研究、人材、資金、情報などの資源提供者と NPO を繋ぐことは充分できているとはいえません。まちづくりに市民の参加を促すことや、NPO 支援のための相談窓口などを心がけていますが、まだまだこれからの課題だといっているでしょう。

行政と NPO のみならず、企業と NPO や、市民と NPO、NPO と NPO、民間財団や寄付者などの支援者と NPO や NPO の支援対象者など多様な関係を取り持つことが「市民活動の交差点」になることであると思っています。特に NPO に共通する思いや願いや意見を政策に提言したり、行政と地域住民との間を調整することもまだまだ先の課題だと認識しています。

また、宝塚 NPO センターは、宝塚市民のためだけの中間支援団体というわけでもありません。宝塚歌劇と同じように宝塚に発祥の地はあるけれども日本全国に発信する組織で NPO 支援を求められるところにはどこへでも駆けつけます。いわば宝塚は屋号のようなもので、まだ NPO が海のものとも山のものともつかぬ時代に産声をあげた団体として NPO を広げる使命のもとで活動してきました。NPO 設立 20 数年も経つと同じような志をもつ中間支援団体も増えてきました。設立当初のままでいいのかと問われるといささか悩むところではありますが、市民セクターとして市民参加のすそ野を広げる団体として「市民活動の交差点」という願いは堅持し続けたいと思います。

今日の宝塚 NPO センターは、若者就労支援や高齢者事業支援の NPO のように受け止められがちですが、目指しているところは市民の多様な社会参加の機会と場づくりにあると考えています。もちろん、ボランティア活動や地域での助け合い、支え合いなども市民活動のひとつですが、就労支援を通じて社会参加が可能であると確信しています。ボランティア活動や地域活動さえできない状況におかれている若者が増えています。その社会的背景には日本の雇用環境の変化、家族の変容など生活のスタイルそのものを変えざるをえない状況が存在しています。ボランティア活動、相互扶助、就業就労による地元貢献、さまざまな社会参加を促していくとともに中間支援団体としての力をつけていきたいと思っています。



理事長 牧里 每治

宝塚NPOセンター
が作りたい
6つのコト

1

協働の場づくり

- ①市民活動促進支援事業
- ②ひょうごアダプト推進業務
- ③きずなの家事業

P.6・P.7

2

人と組織づくり

- ①生きがいしごと
サポートセンター事業
- ②ソーシャルビジネス
創業支援事業

P.8・P.9

3

仕事を通じた 社会参加づくり

- ①職場体験付
若者就労支援事業
- ②若年者就労サポート事業
- ③地域若者サポート
ステーション事業
- ④就労準備支援事業及び
自立相談支援事業（就労支援）

P.10・P.11

つなぐ たがやす ほりおこす

数字であらわす
平成28年度の活動

運営相談
1,485件

起業相談
694件

就労相談
3,076件

4

地域づくり

宝塚市立勤労市民センター
指定管理事業

P.12

5

参加の場づくり

100色珈琲事業

P.12

6

市民ネットワーク づくり

①ネットワーク事業
②エイジフレンドリーシティ
行動計画策定業務

P.13

市民活動及び市民活動団体の自立・発展・市民事業の円滑な運営のための
さまざまな支援を行うことによって、
だれもが安全に安心してくらせる市民社会の実現に寄与します。

起業
24 団体

雇用創出
553 人

ボランティア数
35 人

講座
349 講座

1 協働の場づくり

- ①市民活動促進支援事業（宝塚市）
- ②ひょうごアドプト推進業務（兵庫県）
- ③きずなの家事業（宝塚市）

目的

市民同士の協働、行政と市民の協働、中間支援と市民・行政の協働という3つのつながりの中から、地域のあちこちに対話を生み、お互いの理解を深めながら共に地域を考える参加型の社会をつくりまします。

内容

- ①市民活動促進支援事業
 - ・特定非営利活動法人（NPO 法人）の起業・運営相談支援
 - ・市民活動団体等のコミュニティビジネス（CB）育成等支援
- 〔後期事業〕
 - ・宝塚市まちづくり協議会ポータルサイトの作成業務
 - ・まちづくり協議会のブログ等支援業務
 - ・市民活動の情報発信の充実を図る講座
- ②ひょうごアドプト推進業務
 - ・アドプト団体活動支援
- ③きずなの家事業
 - ・コミュニティカフェ運営
 - ・市民アーティスト応援
 - ・貸しスペース業務
 - ・障がい者授産品委託販売
 - ・市民活動広報支援
 - ・市民団体イベント支援
 - ・市民ボランティア参画促進

活動紹介



完成したインターネット上の情報発信拠点『宝塚市 みんなのまちづくり協議会』



『もっとアドプトを良くする会議』はホンネで話し合える場になりました

①市民活動促進支援事業

・NPO 法人の運営相談	232 件
・NPO 法人の起業相談	104 件
・市民活動団体等の CB 育成相談	236 件

30 団体から法人化相談が寄せられ、6 法人を設立しました。また、1 団体が認定法人格を取得し、更に 3 団体が取得に向けた準備を行っています。

市民活動団体等から寄せられた相談は起業と助成金相談、それぞれ 36 件・42 件と平成 27 年度の 31 件・14 件から増加しています。なお起業相談の 1/3 は一般社団法人設立に向けた相談。それぞれの団体設立目的に合わせて非営利法人格を選択する傾向が見られます。

〔後期事業〕

宝塚市には、自分たちのまちが住みやすくなるよう多様な活動をしている 20 のまちづくり協議会があります。より住みやすく、魅力ある地域をつくっていくためには新しくかわる人を増やしていくことが重要です。そこで宝塚市と宝塚 NPO センターは協働で、インターネット上の情報発信拠点『宝塚市みんなのまちづくり協議会』を作成しました。発信力向上を目的とした広報講座にはのべ 99 人が参加、宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会では住民同士の意見交換会を支援しました。



認証を受け、これからが本当のスタートです

②ひょうごアドプト推進業務

・活動団体	42 団体
・活動者総数	1,462 人

平成 28 年度、兵庫県全域では 378 団体が参加するアドプト制度のうち阪神北県民局管内の 42 団体を事務局として支えました。

同じ活動をする団体同士の意見交換会『アドプトをもっと良くする会議』の開催や、情報紙『みんなのアドプト』での広報活動を通じ、環境美化と災害に強い地域づくりをする市民活動を今後も支え続けます。

③きずなの家事業

・カフェ利用者数	3,619 人
・市民アーティスト応援	8 団体
・貸し部屋利用	9 団体
・障がい者授産品委託販売	1 団体
・市民活動広報支援	24 団体
・市民団体イベント支援	1 団体
・市民ボランティア参画	8 人

『きずなの家 KaRuTa』はコミュニティカフェとして、近隣の方々を中心にお茶と軽食を提供しています。また地域の『交流する場』としての役割を果たし 8 人のシニアボランティアの活躍の場となっています。月 1 回夜間に実施した『宝塚まちかど大学』や利用者による音楽イベントは、企画から広報、事業実施まで一緒に考えながら手伝えることにより、市民力をエンパワメントしました。今後も月に 1 回、市民企画講座を継続する予定です。また宝塚地域若者サポートステーションとの連携により、若者の就労訓練の場としても活用しました。

2 人と組織づくり

- ①生きがいしごとサポートセンター事業（兵庫県）
- ②ソーシャルビジネス創業支援事業（宝塚市）

目的

地域社会の様々な問題を解決するコミュニティビジネス (CB) や社会課題をビジネスの手法を用いて解決するソーシャルビジネス (SB)。

それらを通じて自分達の社会を変革し持続可能にしていく人は自分であると多くの方に気づいていただき、一歩踏み出す支援を目的にしています。また、『働く』ことで誰もが社会とつながることを応援します。

内容

- ①生きがいしごとサポートセンター事業
 - ・NPO 法人・CB の設立支援
 - ・雇用創出
 - ・情報収集発信
 - ・起業相談
 - ・シニア起業
 - ・シニア雇用創出
 - ・CB ゼミナール
 - ・実務講習講座
 - ・シニア向け講座
 - ・CB 啓発フォーラム
 - ・専門家派遣
- 【但馬地域】
 - ・CB インターンシップ事業
 - ・CB 全県活性化シンポジウム
 - ・CB 座談会
 - ・CB 出張相談
- ②ソーシャルビジネス創業支援事業
 - ・SB スタートアップ講座
 - ・SB 事例研究会



①生きがいしごとサポートセンター事業

- ・起業相談 590 件
- ・運営相談 1,017 件
- ・職業相談 537 件
- ・雇用創出 340 人 (うちシニア 71 人)
- ・起業団体数 24 団体 (うちシニア 9 団体)
- ・CB ゼミナール 8 講座
- ・実務講座 11 講座
- ・シニア向け講座 9 講座
- ・CB 啓発フォーラム 2 講座
- ・専門家派遣 4 件

【但馬地域】

- ・CB インターンシップ事業 1 団体
- ・CB 全県活性化シンポジウム 1 回
- ・CB 座談会 1 回
- ・CB 出張相談 17 回

生きがいしごとサポートセンター阪神北には、起業、就労、ボランティア、地域参加など 2144 件の相談が寄せられました。そのような相談に対応し、『CB のツクリカタ』など各種講座を 30 講座開催しました。また情報紙を年 4 回発行し情報発信に努めました。

その結果、24 団体を設立し、340 人の就職をマッチングしました。

②ソーシャルビジネス創業支援事業

- ・SB スタートアップ講座 16 講座
- ・SB 事例研究会 1 回

ソーシャルビジネスへの関心が全国的に高まっているなか、起業のスキルが身につく講座や、ビジネスコンペティションに加え、事例研究会を実施しました。



『場とコト LAB』の中脇健児さんをゲストに『CB のツクリカタ』講演会を開催し、行政・事業者・まちの人々の巻き込みかたについて話し合いました



朝来市にて実施した『SB 自然農』講座。『健一自然農園』伊川健一さんから、これから農業をスタートする人に向けたアドバイスをしていただきました



3 仕事を通じた社会参加づくり

- ①職場体験付若者就労支援事業（宝塚市）
- ②若年者就労サポート事業（伊丹市）
- ③地域若者サポートステーション事業（厚生労働省）
- ④就労準備支援事業及び自立相談支援事業（就労支援）
（宝塚市）

目的

働くことで社会に参加することを支援し、就職成立者を増やします。就職までの支援だけでなく、継続して働くための支援も行っています。

また、事業者はもとより多くの市民に現在の雇用状況を伝えることで、地域の理解を深めることを目的としています。



ソリオ宝塚ふれあい夏祭りのお手伝い。実際に体験することで働くイメージや自信をつけていきます



ビジネスマナー講座にて、電話応対練習。電話機で自分自身の声を録音する演習を通し、ちょっとした緊張を体験しました

内容

- ①職場体験付若者就労支援事業
 - ・就労支援セミナー
 - ・生活訓練プログラム
 - ・職場体験実習
- ②若年者就労サポート事業
 - ・就労支援セミナー
 - ・パソコン講座
 - ・職場体験実習
 - ・合同就職面接会
- ③地域若者サポートステーション事業
 - ・キャリア相談
 - ・キャリアセミナー
 - ・職場定着ステップアップ支援
- ④就労準備支援事業及び自立相談支援事業（就労支援）
 - ・求職活動支援
 - ・セミナー及び就労体験
 - ・就職後の職場定着支援

①職場体験付若者就労支援事業

・就労支援セミナー	13 講座
・生活訓練プログラム	5 講座
・受講者数	19 人
・修了生	17 人
・のべ講座参加者数	210 人

本事業を宝塚市より受託して 8 年目。毎年 7 月から半年間をかけて、各種セミナーや職場体験を通じて若者を就労へと結びつけます。

自己分析や外部講師による職業人講話、ビジネスマナー講座などを実施。

また、清掃体験やソリオ宝塚ふれあい夏祭りのお手伝い、調理実習、職場体験など実際に身体で感じる機会を多く取り入れ、働くイメージや自信をつけ応募活動へと踏み出せるようサポート。本事業を通じて、受講者の半数以上の 15 人が進路を決めました。

修了式では、晴れやかな表情で修了証を受け取る、彼らの成長した姿に感動しました。

②若年者就労サポート事業

・就労支援セミナー	12 講座
・パソコン講座	4 講座
・受講者数	33 人
・合同就職面接会 来場者数	45 人

平成 26 年度から伊丹市より受託した本事業も 3 年目となりました。8 日間の連続講座を前期と後期に分けて開催。自己分析からビジネスマナー、模擬面接など、就活に欠かせない講座を 6 日間、PC 講座を 2 日間実施しました。合同就職面接会では、受講者からも内定者が出たほか、最終的に本事業全体では 20 人が就職を決めることができました。

③地域若者サポートステーション事業

・キャリア相談	1,942 件
・就職決定者数	142 人
・キャリアセミナー	142 回
・職場定着支援率	44.9%

『宝塚地域若者サポートステーション』が開所して 4 年目。開所以来、毎年多くの若者を社会へと送り出しています。本事業では就労支援だけではなく、働き始めてからのサポートもしています。社会に出た後でも、ふっと思い出し立ち寄って相談ができる場を作っています。

④就労準備支援事業及び自立相談支援事業
(就労支援)

・就労決定者数	71 人
・増収者数	10 人

本事業における就労支援は、福祉と雇用が一体化していることが特徴です。宝塚市役所にある『せいかつ応援センター』と連携して本センターの『はたらく応援センター』は平成 27 年度よりも就職者数を増やしています。初年度に比べ、市民や関係機関からの認知度が高まり潜在的な利用者と本事業とが繋がった結果だと考えています。



就労支援の一環として、宝塚園芸福祉協会さんの指導のもと、農作業を体験。体力づくりやコミュニケーション力 UP に役立てています

4 地域づくり

宝塚市立勤労市民センター
指定管理事業（宝塚市）



目的・内容・報告

参加型の施設管理運営を通じて、新しいコミュニティをかたちづくりします。

- ・貸室稼働率 25.0%
- ・利用者数 38,231 人
- ・未広駐車場入庫台数 136,610 台
- ・就職希望者の清掃体験参加人数 57 人

平成 28 年 11 月から開始された中央公民館新築工事に伴い、駐車場が半減したことと閉館が通知されたことの影響により、平成 27 年度に比べ稼働率は 2.5%、利用者数は約 1,000 人減少しました。しかしながら、多くの方々から「閉館まで使わせて欲しい」との嬉しいお声もあり、利用者満足度も前年度と同水準を維持しました。

平成 29 年 8 月末をもって閉館となりますが、最後までしっかりと宝塚 NPO センターらしい指定管理業務を継続していきます。

5 参加の場づくり

100 色珈琲事業



目的・内容・報告

管理施設において年齢や立場に捉われず、誰もが参加できる場づくりや仕組みづくりを実現します。

- ・稼働日数 のべ 337 日
- ・協力ボランティア数 のべ 582 人
- ・利用者数 のべ 5,287 人
- ・寄付金額 332,686 円
(2 店舗計)

寄付とボランティアで支える珈琲を通じた市民交流と参加の場づくり『100色珈琲』は、勤労市民センターとスポーツセンターの 2 店舗体制となり、多くの方に知られるようになりました。

「何気ない会話がうれしい。寄付だけでは申し訳ない」と、砂糖やお菓子を差し入れてくださるコアなファンにも支えられ、今年は利用者数が 5,000 人を超えました。

6 市民ネットワークづくり

- ①ネットワーク事業（ソリオ宝塚自治会ほか）
- ②エイジフレンドリーシティ行動計画策定業務（宝塚市）

目的

市民活動の更なる成長を目指して、それぞれのセクターを結びつけるネットワークの推進に力を入れ、安全で安心な社会をつくります。

内容

- ①ネットワーク事業
 - ・自治会事務局
 - ・ソリオ宝塚ふれあい夏祭り事務局
 - ・地域施設管理事務局
- ②エイジフレンドリーシティ行動計画策定業務

活動紹介



完成した『エイジフレンドリーシティ宝塚行動計画』の冊子と概要版

報告

①ネットワーク事業

宝塚 NPO センターが所属するソリオ宝塚自治会とソリオ宝塚ふれあい夏祭りの事務局、そして近隣の 4 自治会が共同で管理する栄町会館の経理・受付業務を担っています。ソリオ宝塚自治会の事務局は担い始めてから今年で 10 年になります。会費の管理や書類作成などの支援のほか、自治会加盟の金融機関・ホテル・商業施設や子ども会など 20 団体が協働で運営するソリオ宝塚ふれあい夏祭りでは、地域の仲間として一緒に活動するためのお手伝いをしています。平成 27 年度からは栄町会館の経理と受付業務の支援も始まり、地域活動の一端を支える重みを感じています。これらを任せていただいているのは、地域の皆さまから信頼していただけているからだと思っております。これからもその信頼に応えていける宝塚 NPO センターであり続けるよう努めていきます。

②エイジフレンドリーシティ行動計画策定業務
策定委員会及び庁内推進委員会で話し合われた内容をもとに『「お互いさま」があふれるまち・宝塚』を基本理念に策定された『エイジフレンドリーシティ宝塚行動計画』の冊子、ならびに概要版の答申までをサポートしました。

平成 28 年度特定非営利活動に係る事業会計

貸借対照表 簡易版

平成 29 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

借方		決算額		貸方		決算額	
資産 の 部	I. 流動資産			I. 流動負債			
	現金・預金			預り金	1,453,165		
	現金	781,295					
	現金 2	643,135					
	小口現金	40,000					
	郵便貯金	1,928,077		負債			
	普通預金	18,847,467		・			
	(現金・貯金合計)		22,239,974	正味			
	その他の資産			財産			
	未収入金	12,839,342					
	立替金	134,871					
	前払費用	902,485					
	(小計)		13,876,698				
	(流動資産合計)		36,116,672	部の			
	II. 固定資産			正味財産の部			
敷金	1,500,000		前期繰越正味財産額	23,365,304			
差入保証金	100,000		当期正味財産増加額	3,153,671			
電話加入権	76,440	1,676,440	正味財産合計	26,518,975	26,518,975		
III. 繰延資産							
長期前払費用	510,000	510,000					
資産合計		38,303,112	負債及び正味財産合計		38,303,112		

平成 28 年度特定非営利活動に係る事業会計

活動計算書 簡易版

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科目	当初予算	決算額
I 経常収益		
1. 受取会費	1,500,000	1,106,000
2. 受取寄付金	1,415,000	3,604,856
3. 受取助成金等	10,800,000	10,800,000
4. 事業収益	21,074,000	23,072,498
5. 受託収益	58,647,576	57,488,270
6. その他収益	502,000	745,244
経常収益計	93,938,576	96,816,868
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	57,418,142	57,944,021
(2) その他経費	26,626,559	25,175,876
事業費計	84,044,701	83,119,897
2 管理費		
(1) 人件費	626,000	546,375
(2) その他経費	8,947,527	9,709,803
管理費計	9,573,527	10,256,178
経常費用計	93,618,228	93,376,075
III 経常外費用		
1 雑損失	0	42,122
経常外費用計	0	42,122
税引前当期正味財産増減額	320,348	3,398,671
法人税等	82,000	245,000
当期正味財産増減額	238,348	3,153,671
前期繰越正味財産額	23,365,304	23,365,304
当期正味財産合計	23,603,652	26,518,975

活動予算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当初予算
I 経常収益	
1. 受取会費	1,300,000
2. 受取寄付金	507,500
3. 受取助成金等	10,700,000
4. 事業収益	7,935,000
5. 受託収益	63,983,016
6. その他収益	52,000
経常収益計	84,477,516
II 経常費用	
1. 事業費	
(1) 人件費	54,901,843
(2) その他経費	22,218,010
事業費計	77,119,853
2 管理費	
(1) 人件費	440,000
(2) その他経費	6,811,527
管理費計	7,251,527
経常費用計	84,371,380
税引前当期正味財産増減額	106,136
法人税等	82,000
当期正味財産増減額	24,136
前期繰越正味財産額	26,518,975
当期正味財産合計	26,543,111

平成 29 年度特定非営利活動に係る事業計画

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

1 協働の場づくり

市民同士の協働、行政と市民の協働、中間支援と市民・行政の協働という 3 つのつながりの中から、地域のあちこちに対話を生み、お互いの理解を深めながら共に地域を考える参加型の社会をつくります。

	事業内容	実施目標
市民活動促進支援事業 (対象：宝塚市民)	特定非営利活動法人の起業・運営相談支援業務 市民活動団体等のコミュニティビジネス育成等支援業務	300 回 200 回
ひょうごアドプト推進業務 (対象：阪神北県民局管内の市民)	アドプト団体活動支援	39 団体
きずなの家事業 (対象：宝塚市民)	コミュニティカフェ運営 市民アーティスト応援 貸しスペース業務 障がい者授産品委託販売 市民活動広報支援 市民団体イベント支援 市民ボランティア参画促進	通年 通年 通年 通年 通年 通年 通年

2 人と組織づくり

持続可能な組織運営を相談者と一緒に考える姿勢を大切に、コミュニティビジネスや NPO 活動を通じて、誰もが主役として参加できる社会をつくります。また、仕事というツールを用い、誰もが社会とつながることを応援します。

生きがいしごとサポートセンター事業 (対象：兵庫県民)	NPO 法人・コミュニティビジネス (CB) の設立支援 雇用創出 起業相談 シニア起業 シニア雇用創出 CBゼミナール CBスキルアップ集中講座 実務講習講座 シニア向け講座 CB啓発フォーラム 専門家派遣 【但馬地域】 CBインターンシップ事業 CB全県活性化シンポジウム CB座談会 CB出張相談	24 法人設立 250 名 80 名 8 団体 40 名 9 回 2 回 9 回 8 回 2 回 4 回 1～2 団体 1 回 1 回 12 回
--------------------------------	--	--

3 地域づくり

参加型の施設管理運営を通じて、新しいコミュニティをかたちづくりします。

本を通じた市民同士の交流の場も設置します。

宝塚市立勤労市民センター指定管理事業 (対象：宝塚市民)	宝塚市立勤労市民センター管理 宝塚市立末広駐車場管理 自主事業	通年 通年 通年
伊丹市立市民まちづくりプラザ指定管理事業 (対象：伊丹市民)	伊丹市立市民まちづくりプラザ管理 伊丹市市民活動支援	通年 通年

4 仕事を通じた社会参加づくり

働くことで社会に参加することを支援し、就職成立者を増やします。また、事業者はもとより多くの市民に現在の雇用状況を伝えることで、地域の理解を深めます。

	事業内容	実施目標
職場体験付若者就労支援事業 (対象：就労に課題を抱える宝塚市内の若者)	就労支援セミナー 生活訓練プログラム 職場体験実習	13 講座 5 講座 約 2 週間 / 1 人
若年者就労サポート事業 (対象：就労に課題を抱える伊丹市内の若者)	就労支援セミナー パソコン講座 職場体験実習	24 講座 8 講座 約 3 ~ 5 日 / 1 人
地域若者サポートステーション事業 (対象：地域を問わず就労に課題を抱える若者)	キャリア相談 職場体験事業 職場定着ステップアップ支援	新規登録者 200 名 就職決定者 120 名 就職者の定着率 65%
就労準備支援事業及び自立相談支援事業 (就労支援) (対象：宝塚市民)	求職活動支援 セミナー及び就労体験 就職後の職場定着支援	通年 通年 通年

5 参加の場づくり

年齢や立場に捉われず誰もが参加できる場づくりや仕組みづくりを、100 色珈琲カフェを通じて実現します。

100 色珈琲事業 (対象：一般市民)	カフェを通じた参加の場づくり	通年
---------------------	----------------	----

6 市民ネットワークづくり

中間支援 NPO として、それぞれのセクターを結びつけるネットワークの推進に力を入れ、安全で安心な社会をつくります。

情報提供、講演 (対象：一般市民、活動団体)		通年
東日本大震災支援 (対象：関西への避難者)	就労支援 生活相談	通年 通年
熊本地震支援 (対象：一般市民)	募金活動	通年
ネットワーク事業 (対象：一般市民、市民活動団体)	自治会事務局 ソリオ宝塚ふれあい夏祭り事務局 地域施設管理事務局 兵庫ひきこもり相談支援センター事業	通年 通年 通年 通年

支えてくださった皆さん

法人会員 3 団体

医療法人 回生会 宝塚病院
ソリオ宝塚都市開発株式会社
生活協同組合 コープこうべ

団体会員 61 団体

あ・ぷり
アミーゴ
いきいきシニアセミナー
伊丹市土に親しむ会
エスリード宝塚自治会
オフィス・ナウ
関西アロマセラピスト・フォーラム
川西市手をつなぐ育成会
希望の家
キッピーフレন্ズ
きらり
きらり
共生苑
Creative Debate for GRASS ROOTS
高齢者問題を考え行動する会
国際交流団体未来
コスモス
里山未来ラビット
市民活動フォーラムみのお
支援の会ひまわり
シェアワールド
晋栄福祉会 宝塚ちどり
水道施設整備技術協議会
ソリオ宝塚自治会
そら
宅老所 光明の家
宝塚青年会議所
宅老所 ろまん
宝塚 NISSITANI
宝塚エルバイレFC
宝塚園芸福祉協会
丹波里山くらぶ
宝塚高次脳機能障害者共生の会
宝塚市花のみち自治会
宝塚まち遊び委員会
宝塚投資塾自考庵
宝塚市米町西自治会
つどい場さくらちゃん
とことこ
日本災害救援ボランティアネットワーク
日中会計税務交流機構
日本心理教育ラボ
ネパール・ヨードを支える会
ハッピーライフ福祉会
ハートライフ福祉協会
バイカモ楽農会
ヒューマンサポート関西
日高共同作業所
人と人とを結ぶ福祉の会ハロー宝塚
兵庫空き家相談センター
宝豊連
ほっと宝塚子育てネットワーク
ポア・ヴィーブ
まちづくりの会すけっと
緑と花と輝きのまちづくり
武庫川がっこう
めふのお家
友愛こぶし
悠楽舎
よつば法律事務所
れいんぼう

個人正会員 40名

相田 英俊
相田 こと子
江守 典子
遠座 俊明
金平 京子
清瀬 勲
橋田 てつ子
木下 道則
倉橋 滋樹
佐藤 健二
塩谷 惣太郎
菅原 美代子
鶴丸 悌二
名取 千里
中 政芳
中山 光子
中川 知子
中野 裕行
野尻 俊明
林 宏昭
原 啓
福岡 則博
藤崎 麻里
福島 達夫
藤田 綾子
細谷 崇
牧里 每治
松岡 香江
三原 伸也
三木 さくら
森田 義
山本 敬子
山口 耕平
山田 忠生
吉野 茂子
横山 宗助
和智 敏雄
匿名希望 3名

(敬称略)

賛助会員 124名

天羽 望
栗岡 和美
國下 透
黒木 雅子
工藤 圭子
石原 朱実
石橋 さなえ
飯室 裕文
石渡 裕子
生駒 由香里
和泉 昌三
伊川 健一
内田 才子
上坂 和子
上村 敏弘
馬越 康弘
大上 清
越智 清光
大橋 良子
大谷 友比古
岡田 泰子
大西 和昭
太田 恵子
大竹 眞弓
川口 章子
川久保 雄介
河本 美代子
亀川 甲
金井塚 美根
金谷 信子
金岡 重子
河辺 千佳
木村 佳友
北田 浩久
木佐一 豊人
木下 静美
車田 清美

栗岡 和美
國下 透
黒木 雅子
工藤 圭子
久世 直子
小副川 久代
小林 則昭
小林 和子
小林 浩昭
小林 光里
阪口 春彦
佐伯 義信
鮫島 英雄
新福 泰雅
澁谷 富子
正 優展
直田 春夫
須藤 栄一
多胡 葉子
高瀬 梓
高松 宏子
高松 泰子
立川 文代
高野 学
田村 博美
釣島 平三郎
辻 紫乃
出澤 淳一
塔筋 幸造
永井 弘行
中川 慶子
中村 豪
中野 年一
西野 順三
西部 三重子
西村 和弘

能登 将史
緋本 順子
古田 時子
藤田 昭
藤津 忍
藤井 佳代子
福島 義直
松永 星子
前田 敦司
松藤 聖一
松浦 雅子
丸谷 典子
三戸 俊徳
宮野 達子
宮脇 瑞穂
三橋 あき子
宮本 真由美
三原 裕二
村上 克己
森田 隆作
望月 利恵子
森本 樹
萩井 芳子
森脇 やすと
森田 かつ子
山口 一史
谷川原 宇子
山本 進
安田 和弘
山添 令子
保元 温
山口 尚美
山本 麗子
山本 敏晴
横山 晴美
若山 晴司
匿名希望 16名

(敬称略)

寄付者 50名

相田 英俊
相田 こと子
石橋 さなえ
諫山 智賀子
上原 敏明
江守 典子
江守 理恵
江守 和一
遠座 昭二
遠座 英昭
橋田 てつ子
小林 浩昭
高年齢者問題を考える会
菅原 美代子
妹尾 勇太郎
宝塚の杜芸術倶楽部
鶴丸 悌二
中村 豪
中山 光子

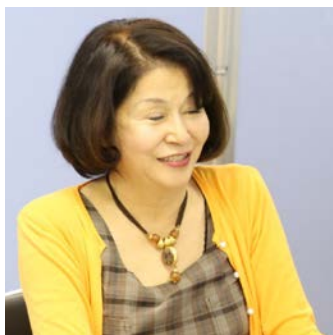
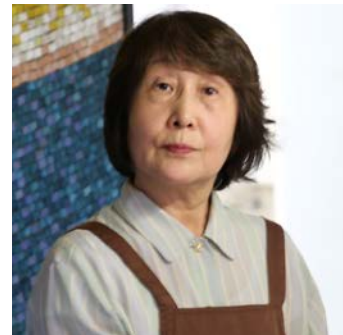
名取 千里
野尻 満子
野尻 延宏
ハートライフ福祉協会
春本 華子
春本 拓哉
藤田 綾子
藤田 正
藤田 寛之
細谷 崇
細谷 麻衣子
牧里 每治
三戸 俊徳
森本 樹
山口 一史
山口 巖
山口 光美
ゆーあい
吉松 摩理子
その他匿名

(敬称略)

平成 29 年 3 月末 19 年間の寄付総額は 34,575,036 円

平成 28 年度の寄付金額は 50 件 (46 個人、4 団体・企業) で 3,604,856 円の寄付をいただきました

ボランティア



平成 28 年度のボランティア時間は 2,669 時間となりました。
このボランティア時間は常勤職員の 1 年の労働時間に換算すると約 1.5 人分となり、
無償役務を換算すると 290 万円の寄付に相当します。
広い視野からのご意見や一緒に作業をする際の何気ない会話は、私たちに多くの気づきを与えてくれます。
私たちにとって、ボランティアの皆さんは欠かすことのできない活動のパートナーです。
しかし、ベテランのボランティアの方が体調を崩され、1 年間休まれたことで、ボランティア時間が昨年より 800 時間程度減少となりました。ボランティアお一人お一人の力は宝塚 NPO センターにとって大きなものなのだあらためて実感しました。
今後も多くのボランティアの皆さんと共に、人が行き交う市民活動の交差点として活気あふれる宝塚 NPO センターを目指したいと考えています。

職員

石堂 弥華子
内田 潤
馬越 康弘
塩谷 素子
太田 恵子
橘田 てつ子
木佐一 豊人
工藤 圭子
久保 幸太郎
小林 千寛
斎藤 恒之
佐藤 紫乃
篠原 久美
新平 育男
洲上 ありす
高瀬 梓
出澤 淳一
中野 裕行
中山 光子
西谷 明子
子延 優子
緋本 順子
松岡 香江
万場 イツエ
三原 伸也
山口 耕平
山下 智子
横山 宗助
吉野 茂子
若山 晴司

役員

理事長	牧里 每治	関西学院大学 人間福祉学部 社会起業学科 教授
副理事長	江守 典子	宝塚市社会教育委員の会議 議長
副理事長	遠座 俊明	大阪ガス株式会社 エネルギー・文化研究所
理事	名取 千里	株式会社ティーオーエー 代表取締役
理事	鶴丸 悌二	高齢者問題を考え行動する会 代表
理事	野尻 俊明	保護司
理事	藤田 綾子	大阪大学名誉教授
理事	西井 進剛	兵庫県立大学 経営学部 教授
理事	福島 達夫	社会保険労務士
理事	細谷 崇	CoderDojo 西宮・梅田代表
理事	中山 光子	認定 NPO 法人 宝塚 NPO センター 事務局長
理事	橘田 てつ子	認定 NPO 法人 宝塚 NPO センター
監事	福間 則博	弁護士
監事	森田 義	公認会計士、税理士

平成 29 年 3 月末現在



認定 NPO 法人 宝塚 NPO センター

宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F

TEL 0797-85-7766

FAX 0797-85-7799

MAIL zukanpo@hnpo.net

URL <http://hnpo.net>